

I 本校の教育

副校長 神 田 和 正

1. 教育目標の確認

(1) 学校は今どうあるべきか

子どもの「いじめ」の問題が毎日のようにテレビや新聞などのマスコミに取り上げられ、報道され討議されている。また、最近では子どもの自殺も目立ち始め、安易に死の道を選ぶ傾向が出てきた。こうした現象について、その原因が究明されなくてはならないが、さまざまな要素がからまり合っただけではない。しかし、学校教育・家庭教育・社会教育の立場から、それぞれのこれまでの有り方、今後の有り方について検討が迫られていることは事実である。

一人ひとりの子どもに目を向けると、このままでいいのかと心配になる現象も多い。進学のための塾は第二の学校と言われるようになり定着してきた。遊ぶ暇もなく学校と塾で勉強している。家庭でも学校と塾の勉強をしなければならない。親は教師の代わりをし、第三の学校が形成される。子どもたちは遊ぶ暇もなく息を抜くこともできない。僅かな暇が生まれるとテレビを見るか、ファミコンでゲームをするかである。友だちとの遊びは全く無くなってしまっている。子どもは孤立している。

生活の大部分を勉強に当てているが、その勉強は何のためにしているのだろうか。目先の進学のためということであろうが、その進学も自己の将来を見通したものではない。少しでも有利な就職、豊かな生活を望むための進学希望である。友だちと遊ばないことで人と人とのかわりは無く自分のことしか考えられない人間になってしまう。「いじめ」「自殺」もここらあたりから出てきているのではないか。

学校としてどうあるべきか今問われている。今一度教育の原点に帰って、21世紀に生きる子どもたちの目標や教育の有り方を検討し、確認しておく必要がある。

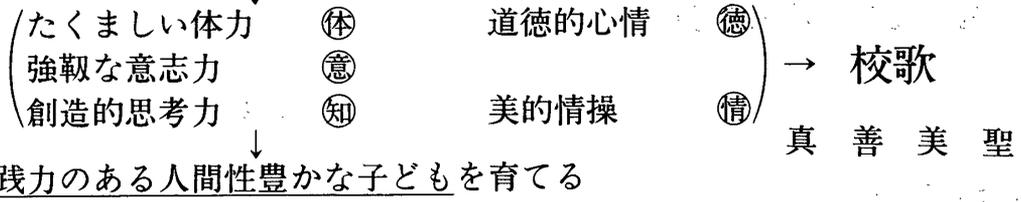
(2) 本校の教育目標

本校の教育目標は、昭和28年頃に当時の三登義雄校長時代に設定された。途中部分修正されたこともあるが、その中に盛られた事項は、今読み直しても大事なことである。上述したような子どもの現状を考えると、いっそうその感を強くする。この目標をしっかりと確認し肝に銘じなくてはならない。その教育目標は以下の通りである。

国際社会の中で信頼と尊敬を得る日本人を育成する事を基底として、たくましい体力、強靱な意志力、創造的思想力の育成を根幹とし、道徳的心情という緑したたる葉と美的情操という輝しい花とをつけた実践力のある人間性豊かな子どもを育てる。

こうして文の形で読むと、長文ですんなりと心の中まで入ってこない。多くの内容が一文で納められているからであろう。次頁のように、内容を図式化すると明確に把握できる。また、この図式の中に教育の目標、あるいは人間形式の目標として言われてきた「知」「徳」「体」、「知」「情」「意」、「真」「善」「美」「聖」を位置づけてみた。さらに、中教審と臨時審で掲げられた「21世紀に生きる日本人」の姿を並記してみた。これらを相互に関連させて見ることによって、本校の教育目標が、よく考えられたものであり、今日も未来も生き続けていくものだと確信がもてる。

国際社会の中で信頼と尊敬を得る日本人を育成



中教審

1. 「自己教育力」の育成
2. 基礎基本の徹底
3. 個性と創造性の伸長
4. 文化と伝統の尊重

臨教審

1. ひろい心すこやかな体、ゆたかな創造力
2. 自由・自律と公共の精神
3. 世界の中の日本人

(いずれも21世紀に生きる日本人の育成を目指す。)

(3) 教育目標の具現化のために

教育目標は立派でも、具現化が考えられなければ絵に書いた餅である。その具現化のために、校歌があり、各領域などにおける目標の具体化があり、さらに、児童のめあてがある。

校歌は、目標設定をされた三登義雄校長の作詞になるもので、以下のようなものである。この校

東雲附小	世界を友と	学びの園に	銀河宇宙の	人の歴史は	東雲附小	不撓の心	学びの園に	猿猴川は	真夏真冬も	東雲附小	創造の道ぞ	学びの園に	黄金山に	広いデルタの
東雲附小	むつみ行く	のぞみあふれ	またたけば	あらたまり	東雲附小	鍛え行く	力あふれ	たゆるなく	悠々と	東雲附小	拓き行く	光あふれ	いだかれて	朝ぼらけ

歌の意味・願いなどを児童によく理解させ、折に触れ歌うここによって、児童の心の底にしっかりと定着させたいものである。

東雲教育の具体化については、次頁に示す通りであるが、学校教育の三領域と目標にある体力と意志力(実践力)とについて考え、

それを各学年別に考えた。これが基本となって各領域などにおける目標が決定される。

児童のめあてについては、現在検討中であるが、児童の立場からよく理解出来るものでなくてはならない。その上に、より具体的で行動的なものがよい。さらに、それを実現することによって、すべての目標にかかわりが生まれ、その達成ができるというのが望しい。現在検討中であるが、次のような原案が提示されている。子どもが平素から声に出し、行動し、お互いに認め合っているようなものでありたい。

子どものめあて

- 「おはよう」とあいさつする子— 徳 情— 真 善 美 聖
 (明るい子)
- 「なにくそ」とがんばる子— 体 意
 (強い子)
- 「こうすれば」とくふうする子— 知 知
 (かしこい子)

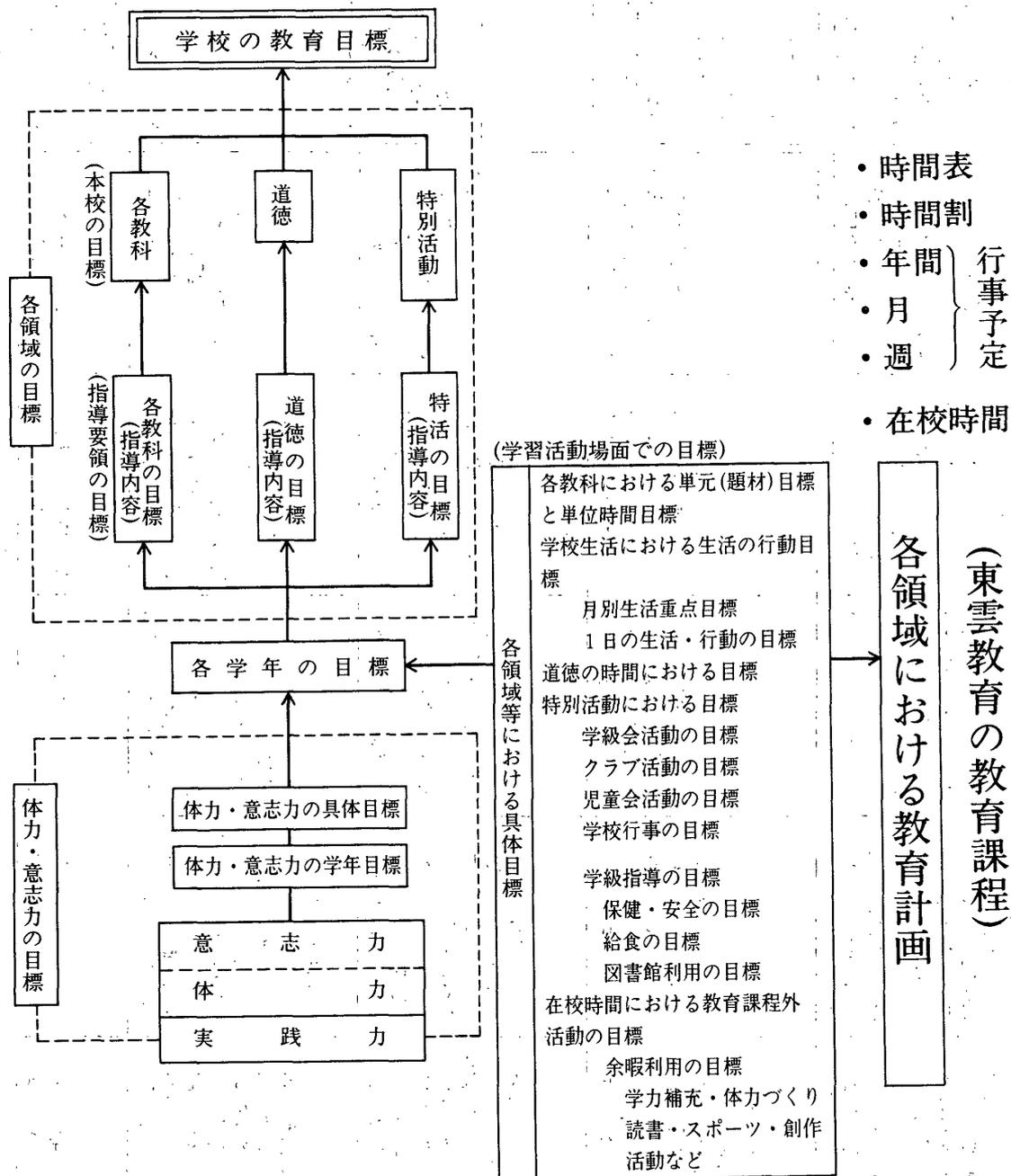
東雲教育目標の具体化

各領域等の目標		各教科		道徳		特別活動		体力		意志		実践力					
学年目標																	
○確かな知識・技能を身につける。 ○自ら、体を動かして、問いかけ試し、創り出す。 ○友達から学び、ともに高まる。		○正しい判断力で、自己を律する。 ○目標達成のため、責任をもってやりぬく。 ○豊かな心で、他をおもいやる。		○よがままな行動をしない。 ○自分のことは自分でする。 ○友達と仲良くする。		○自分の役割を自覚し進んで活動に参加する。 ○自他の考えを生かし、見通しをもって全力で取り組む。 ○他人の立場を考えて、みんなと協力する。		○自己の目標達成を目標として挑み鍛える。 ○自分の体を知り、健康安全の保持増進に努める。 ○きまりを尊重し、お互いに磨き合う。		○楽しく運動する。 ○体や身なりをきれいにする。 ○けがをしないようにする。 ○みんなと運動する。		○元気に運動する。 ○体をきれいにし、身なりをきちんとする。 ○けがをしないように気をつける。 ○仲良く運動する。		○継続して体をきたえる。 ○清潔な体や身なりに気をつける。 ○安全に気をつけて運動する。		○めあてをもって、継続して体をきたえる。 ○自己の健康を考えて、清潔な体や身なりに気をつける。 ○安全に気をつけて助け合って運動する。	
◎みんなと仲良く楽しく生活する。		◎ひとり立ちとなかも意識を身につける。		◎ひとつのことに没頭してなすとげる。		◎友だちと協力して高める。		◎何事も自分の手でなしとげる。		◎最高学年としての誇りと責任を持って自己を深める。		◎課題を見つけて、自分の力で解決し他へ応用する。 ○見通しをたてて、創造的に活動する。 ○お互いの考えを理解しあい自分の考えを深め広げる。		○課題を見つけて、自分の力で解決し他へ応用する。 ○見通しをたてて、創造的に活動する。 ○お互いの考えを理解しあい自分の考えを深め広げる。			
○よく見、よく聞きながら学習する。 ○素直に活動する。 ○みんなと楽しく学習する。		○よく見、よく聞き、よく確かめながら学習する。 ○のびのび素直に活動する。 ○みんなと仲良く学習する。		○学習のねらいを確かにして学習する。 ○自信をもって活動する。 ○自分の考えを確かにして発表し合う。		○学習のねらいを確かにして進んで学習する。 ○自信をもって確かに行動する。 ○自分の考えを確かめ友達の考えとくらべて高まる。		○自己を反省し、思慮深く行動する。 ○見通しをもってなしとげる。 ○尊敬、感謝の気持ちをもち行動する。		○自己を反省し、思慮深く行動する。 ○見通しをもってなしとげる。 ○尊敬、感謝の気持ちをもち行動する。		○自己の役割を自覚して、進んで仕事をし、責任をもつて活動する。 ○全校の立場を理解し、協力する。 ○見通しをたてて、計画的に活動する。		○自己の向上に気づき、継続して体をきたえる。 ○健康、安全に気をつけて病気やけがをしないようにする。 ○きまりの意味を知りお互いに磨き合う。		○より高いめあてに向かって積極的に体をきたえる。 ○自分の体を知り、健康安全に気をつけた生活をする。 ○きまりを理解して競い合い磨きあい互いに高まる。	
◎きまりの意義を知って守る。 ○くじけないで最後までげまじ合って行動する。		○どんなときでも、公正公平に行動する。 ○失敗を生かしてなしとげる。 ○相手の立場を考えて行動する。		○自分の仕事を工夫してなしとげる。 ○話し合って決めたことを生かして活動する。		○自分の役割を自覚して、進んで仕事をし、責任をもつて活動する。 ○全校の視野に立ち、責任を自覚して取り組む。 ○見通しを立てて、自治的に活動する。		○自己の役割を自覚して、進んで仕事をし、責任をもつて活動する。 ○全校の視野に立ち、責任を自覚して取り組む。 ○見通しを立てて、自治的に活動する。		○自己の役割を自覚して、進んで仕事をし、責任をもつて活動する。 ○全校の視野に立ち、責任を自覚して取り組む。 ○見通しを立てて、自治的に活動する。		○自己の役割を自覚して、進んで仕事をし、責任をもつて活動する。 ○全校の視野に立ち、責任を自覚して取り組む。 ○見通しを立てて、自治的に活動する。		○自己の役割を自覚して、進んで仕事をし、責任をもつて活動する。 ○全校の視野に立ち、責任を自覚して取り組む。 ○見通しを立てて、自治的に活動する。			

(4) 目標の具体化の方向と教育活動

目標は、日々の教育活動の場でさらに具体化される。その際に以下のような関係を常に頭に置いて目標の設定をしなくてはならない。こうすることによって無限に細かくなり無限にあると思われる目標も学校教育目標にすべてつながっていく。

次頁に具体化の例として「学校生活における生活・行動の目標」をのせておく。



学校における生活・行動目標

基本的な生活習慣 (1)始業10分前までには登校し、始業に備えている。

(2)早朝体育に進んで参加し、体力づくりに努めている。

(3)衣服の着脱は、手際よくできる。

(4)スピーカーに向かって立ちどまって目で聞くことができる。

○(5)校舎内では、奥歯をかみしめて静かに歩行できる。

(6)先生の前と他の場所での態度はいつも変わらない。

(7)学用品を大切に使用しノートの使い方がよい。

(8)忘れ物や落し物をすることがめったにない。

(9)靴箱、傘箱はきまり通りに使うことができる。

(10)机やロッカーの中は、いつも整頓している。

○(11)トイレの使い方はよく、いつもスリッパの整頓をしている。

(12)まのびすることなく、集団のリズムにそって行動できる。

(13)登下校はさっさと歩行し、バス内のよい態度ができる。

礼儀作法○(1)「ハイ」とひきしまった返事と礼儀正しい挨拶ができる。

(2)1・3・5の声の出し方に気をつけ、正しい言葉づかいができる。

(3)給食は作法を心得て、感じのよい食べ方ができる。

交友関係 (1)わがままな行動がなく、何事も進んでやろうとする。

○(2)友だちに思いやりのある行動、態度ができる。

(3)むやみに友だちのことなど先生につげ口しない。

(4)人のいやがる事にも不平を言わずにせつせとする。

健康・安全 (1)目は30cm、足は60度、腰は90度のよい姿勢をしている。

(2)体操服や靴などは、いつも清潔に気をつけている。

○(3)休み時間などは、年中校庭に出て友だちと元気に遊ぶ。

(4)給食後は必ず歯磨(うがい)をしている。

奉謝活動○(1)作業や清掃のときは、むだ話をせず尊い汗を流している。

(2)生き物の世話は、自分のことのようにいつもよくできる。

(3)学校の係活動その他のことで「私がします」という奉仕の心がにじみ出ている。

余暇利用 (1)図書室の本をよく利用し、読書手帳によくあらわれている。

○(2)課題をみつけて、ねばり強く自分で学習することができる。

(3)テレビの視聴は、規律正しい生活の中であることができる。

(4)体育手帳にある種目で自分を向上させるためつねに努力をしている。

(5)余暇の使い方は、心身の健康のためにくふうしている。

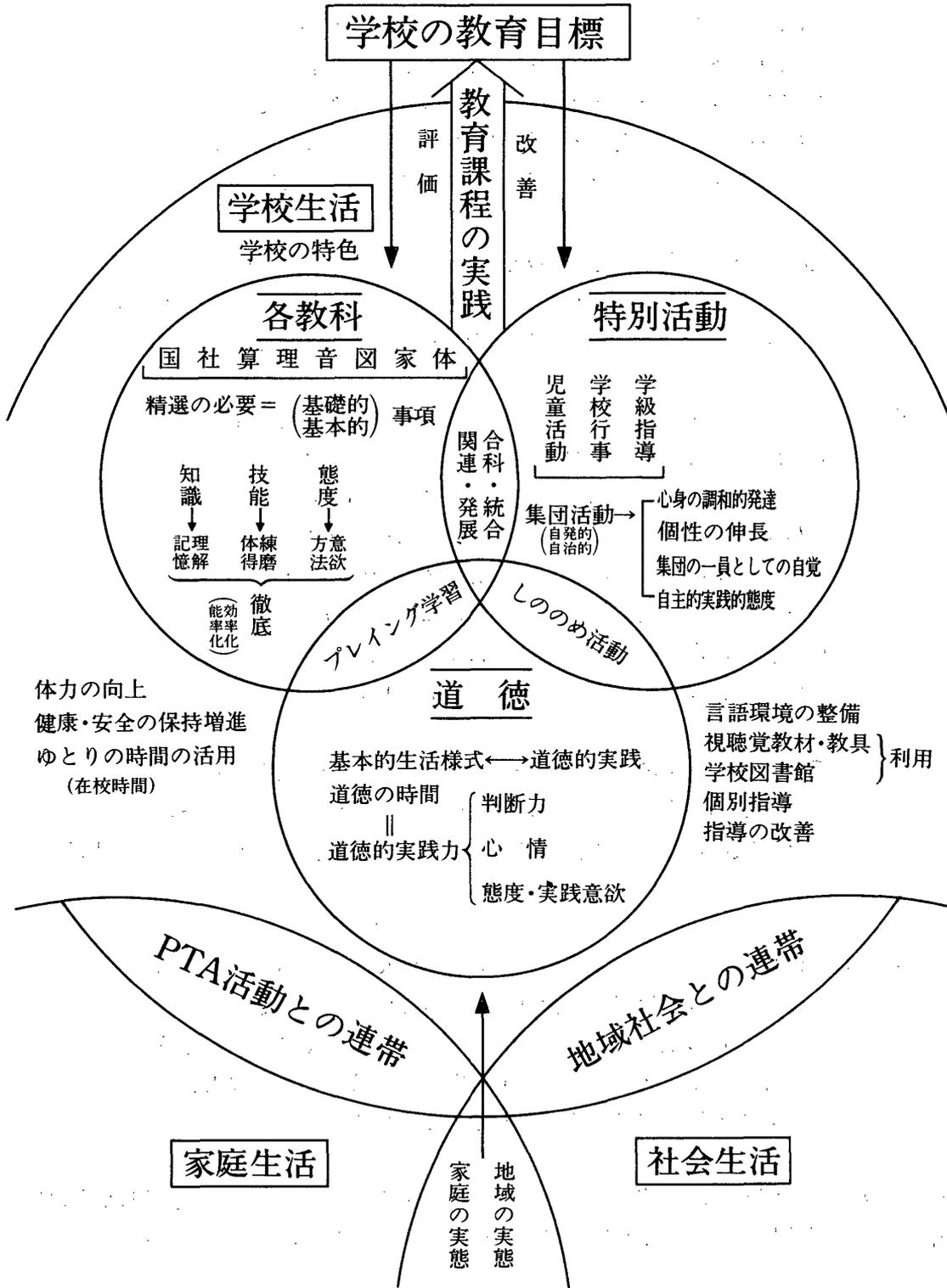
※実現のための共通理解 ○学習・生活の統一課題を決定し、全校で取り組む。(○印を付したもの)
○項目中より具体的なものについては、統一しておく必要がある。

2. 教育目標の実現

(1) 教育目標を実現する場として学校教育の全体像を把握する

教育目標を実現する場として、三つの領域が考えられている。教科・道徳・特別活動（教育課程内活動）である。これらは、時間割に組まれているものであるが、これ以上の場でも教育目標の実現のための学習活動は行われる。在校時間の中で三領域を除いた時間（教育課程外活動）である。さらに、家庭や社会の中でも行われる。こうした実現の場をしっかりと把握しておくために、以下のように図式化してみた。

各領域の内容と関連



(2) 教育目標を実現する場として児童の一日の生活を把握する

児童の学校での生活は、時間表や時間割表で規制されている。その中でどのような一日を過ごしているのだろうか。児童の立場から一日を考えたのが、以下の表である。これは児童の一日を考える手掛りになるものとして作成したものであるが、これをもとにひとりひとりが一日をどのように過ごしているかを点検していく。学校に期待や希望や願いをもって登校してくる。一日を過ごして喜びや満足感や自信をもって下校していく。こんな一日を過ごさせたいものである。

児童の一日

(児童の一日の活動を明確にし、ゆとりと充実のある学校生活を過ごさせる。)

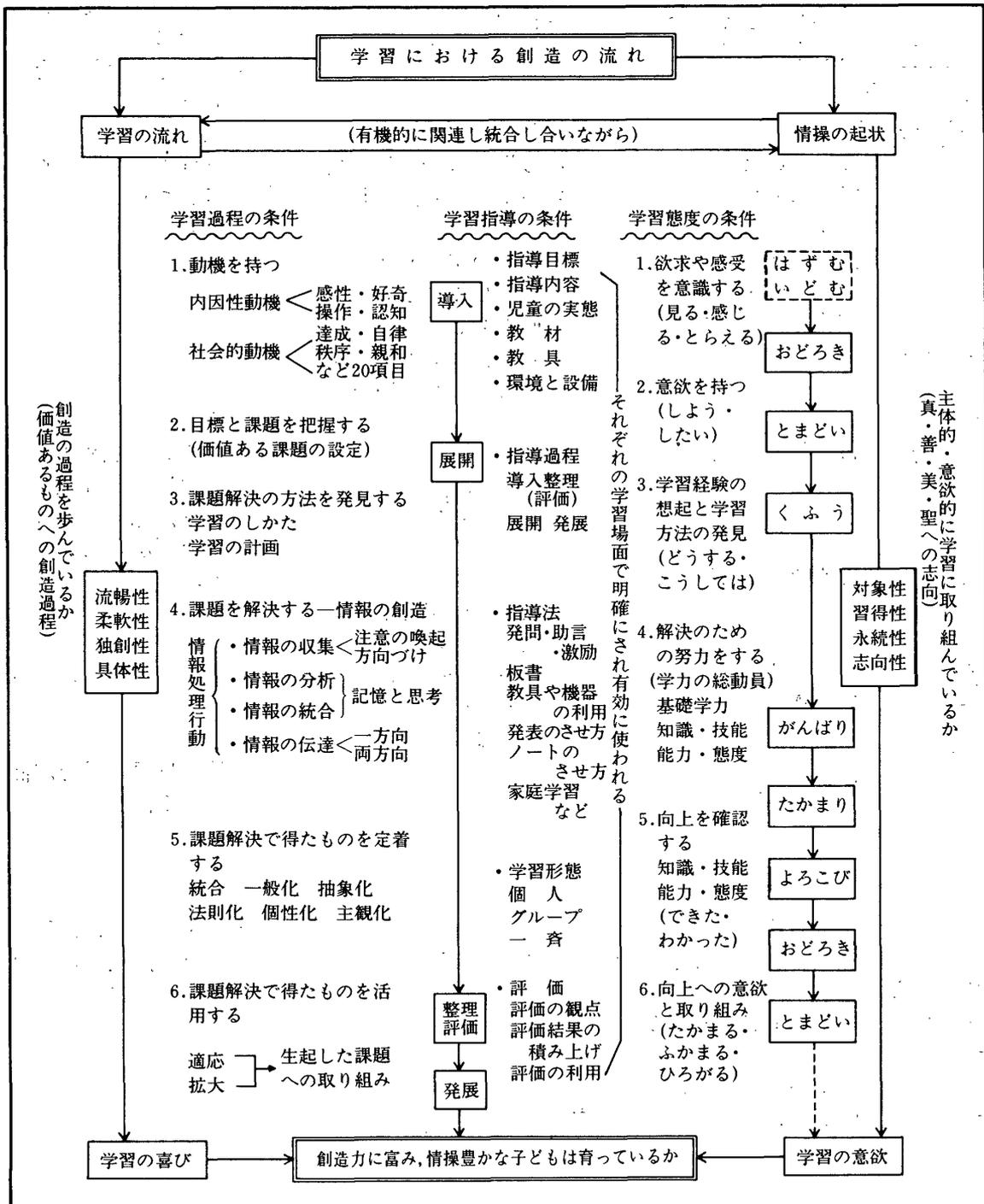
わたしの一日	日直の仕事	係・当番
<hr/> 登校 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">窓を開ける。部屋を整える。	<ul style="list-style-type: none">それぞれの仕事を明確にしている。それぞれの仕事を計画的・自主的に推進する。自分の仕事によく気がつく。
<hr/> 早朝体育・早朝読書 各種朝会・学級指導 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">皆の学習の様子や生活の様子をよく観察しておく。	<ul style="list-style-type: none">学級内の問題や気づきなど見付ける。直ぐに皆と解決したり、係内・学級会で解決したりする。
<hr/> 早朝体育 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">遅れないように集合して待つ。	
<hr/> 早朝読書 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">静かに読書。	
<hr/> 各種朝会 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">児童朝会 私達の手で。 朝礼 緊張して。	
<hr/> 学級指導 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">しっかり聞く。	
<hr/> 授業 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">けじめがあるか集中しているか仲よくしているか力を合わせているか全力を出しているか	
	↓	
<hr/> 休憩 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">学級日誌に記録する。部屋を整える。	
<hr/> 給食 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">机や椅子の整頓ごみ拾い戸締まり など	<ul style="list-style-type: none">給食の用意と片付け
<hr/> 清掃 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">真面目に働く	<ul style="list-style-type: none">清掃は目と手で時間の中で済ませる。
<hr/> 終わりの会 <hr/>		<ul style="list-style-type: none">当番や係りの活動について点検したり反省したりする。
<hr/> 生活ノートを書く(明日の予定など) 一日を反省する。(一日の行動確認・一人で、皆で) 係りから 連絡・調査・お願いなど 先生から 注意・予定・連絡など <hr/>		
<hr/> 下校 <hr/>	<ul style="list-style-type: none">下校時刻を守る。道草食わずさっさと帰宅する。	

(3) 教育目標を実現する場として授業の構造を把握する

学校教育の中核は、三領域の中で行われる授業である。その授業をどういうものにしていくかは、教育目標の実現に大きくかかわっていく。本校では、「自ら学ぶ意欲・態度を育成する指導と評価」という研究主題を設定して授業の有り方を研究してきた。「自ら学ぶ意欲・態度をもった児童」を育成するために問題解決的（探究的）学習を取り上げ、その実践を進めてきた。

授業に焦点を当て研究を進めるとき授業の全体像が見えなくては研究が深まらない。そこで思い出すのが、昭和47年（13年前）に考えた以下の「創造的学習過程の条件」である。授業はさまざまな条件（要素）が有機的にからみ合っ構成される。そうした条件（要素）を常に念頭に置いて、目標実現のための授業を構築していかななくてはならない。

<創造的学習過程の条件>



3. 今後の課題

本校のこれからの教育の方向を見定めるために、これまでに積み上げたきたものを取り上げ、一応の整理をしてみた。そのときそのときに断片的に考えてきたことではあるが、こうして整理をしてみると一つの筋道が浮び上がってくる。こうしたものにさらに検討を加え、実践を積み上げてより確かなものにしていかなければならないものとして、東雲教育の教育課程がある。これまで、いろいろな機会に発表してきたものを集め検討を加え、より充実したものにしていかなければならない。手掛りの一歩として教育課程作成の資料として抽出を試みたので、それを以下に示しておく。

- (1) 『ゆとりある教育課程の編成と評価』 昭. 53. 12. 1. 発行 昭. 55. 5. 1. 改訂
P. 170~181 合科的指導の年間計画 <一覧表>
- (2) 『よい国語科授業を創る表現・理解・言語の指導』 昭. 55. 2. 7. 発行
P. 64~116 国語科年間指導計画表 <一覧表>
- (3) 『よい社会科授業を創る新教材の開発と単元構成』 昭. 54. 8. 28. 発行
昭. 55. 8. 25. 発行
P. 39~44 各学年の年間指導計画 <一覧表>
- (4) 『基礎学力の充実を図るよい算数科授業』 昭. 57. 6. 11. 発行
P. 36~62 学年別年間指導計画の一覧
- (5) 『学習意欲を高める理科授業の条件と評価』 昭. 59. 12. 25. 発行
P. 64~132 学年別・年間指導計画 <一覧表>
- (6) 『よい図工科授業を創る題材開発』 昭. 56. 6. 発行
P. 43~50 各学年の年間指導計画 <一覧表>
- (7) 『めあてに取り組む体育科授業の創造』 昭. 58. 10. 30. 発行
P. 39~48 各学年の年間指導計画
- (8) 『道徳性の基礎を培う計画と指導』 昭. 57. 5. 5. 発行
P. 39~157 道徳主題一覧表・「道徳の時間」の年間指導計画
- (9) 『豊かな人間性を育てる特別活動』 昭. 54. 11. 30. 発行 昭. 57. 8. 25改訂
学級会議題一覧 (P 30・31) 各委員会で予想される活動例 (P 36・37)
学校行事一覧 (P 40・41) 学校指導年間指導計画 (P 42~48)
学校保健安全年間計画 (P 162・163)
- (10) 『合科・総合の実践と課題』 昭. 59. 12. 25. 発行
「しのめ学習」年間指導計画 (P 7・8)
- (11) 『複式学級における学習指導』 昭. 56. 10. 10発行
題元(題材)一覧表(それぞれの教科の部分)
- (12) 『養護(精神薄弱)学級における教育実践』 昭. 51. 12. 20. 発行
総合学習年間計画(昭和51年度)<P 24~28>
各教科の指導内容表一第一次案(昭和51年度)<P 32~43>